

「アルカリシリカ反応をどこまで抑制すべきか」

に関するシンポジウム

—参加募集—

開催日：2012年12月3日(月)

主催：公益社団法人 日本コンクリート工学会

後援：土木学会、日本建築学会、セメント協会、全

(予定)国生コンクリート工業組合連合会、日本砕石

協会、日本砂利協会、コンクリート用化学混

和剤協会

1986年のASR抑制対策以降ASRによる構造物の被害は減少しましたが、この方法は有効でありつつも完全ではなく、近年では抑制対策を施したコンクリートを用いた構造物のASR劣化事例が報告されています。今後、合理的かつ効果的な抑制対策を確立するためには、現場の劣化の原因調査までを含めた包括的な診断(ASR診断)が不可欠です。

このような背景の下、平成23年度から「ASR診断の現状とあるべき姿研究委員会」が設立されました。平成23年度にはアンケートを実施し、コンクリート技術者の中でもASRをどこまで抑制すべきか、また抑制のためにコストアップは許容できるのか、コンセンサスが十分に得られていないことがわかりました。これらの議論を整理するためには、コンクリート工学分野を超えた様々な視点からの議論が必要です。

本研究委員会では、コンクリート構造物においてASRのリスクをどのように考えるべきか、各分野の研究者や実務者の方々、さらには市民の目線も加えて情報交換・議論する場を設けることといたしました。シンポジウムの前半では3件の基調講演、後半にはパネルディスカッションを予定しております。パネリストからは、事前をお願いしているASRの抑制に対する考え方を簡単にご紹介いただき、オブザーバーからご意見をいただきながら、議論を進めていく予定です。

つきましては、関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

記

1. 開催日時: 2012年12月3日(月)10:00~16:40

2. 開催場所: 品川区立総合区民会館「きゅりあん」小ホール
(東京都品川区東大井 5-18-1)

3. プログラム(予定): 司会: 久保善司(金沢大学)

10:00~10:10 開会挨拶

10:10~12:30 基調講演

・ASR抑制対策の不足な点と理想的な試験法

山田一夫(国立環境研究所)

・ASRがコンクリート構造物の構造性能に及ぼす影響

齊藤成彦(山梨大学)

・ASRという現象について

河野広隆(京都大学)

12:30~14:00 <昼休み>

14:00~16:30 パネルディスカッション

コーディネーター: 河野広隆(前掲)

FS委員会アンケート概要報告:

川端雄一郎(港湾空港技術研究所)

パネリスト:

渡辺博志(土木研究所)、野島昭二(高速道路総合技術研究所)、松田芳範(東日本旅客鉄道)、森野奎二(愛知工業大学名誉教授)、斎藤宏保(中部大学)

オブザーバー:

佐々木一則(阪神高速道路)、永山勝(日本建築総合試験所)、鳥居和之(金沢大学)、齊藤成彦(前掲)、山田一夫(前掲)

16:30~16:40 閉会挨拶

4. 参加費および申込方法: (1)参加費:

正会員(個人)6000円／*(1)団体会員構成員
8000円／会員外 10000円／*(2)学生 3000円
(いずれも配布資料と消費税を含みます。)

* (1)団体会員構成員

1. 本学会加入の官公庁の職員および会社等の
従業員

2. 後援団体の職員および学協会等の個人会員

* (2)学生の方は学生証のコピーを必ず同封して
ください。

参加費は、郵便局備付けの払込取扱票にて下記
郵便振込口座へ払い込みください(払込手数料は
申込者にてご負担願います)。

振替口座番号 00120-5-99133(加入者名:公益
社団法人日本コンクリート工学会)

* 通信欄に講習会名(会場名など)・参加者氏名
を必ず明記してください。

* 納入された参加費は定員に達し、お断りした時
以外はお返しいたしませんので、あらかじめご了
承ください。

(2)申込方法:

[参加申込書](#)に必要事項を記入のうえ、払込受領
証のコピーを貼付し、送付先を明記した80円切手
貼付の返信用封筒を同封し、下記申込先に郵送
してください。折り返し同封の返信用封筒により参
加証をお送りします。

5. 申込締切: 定員(約200名)になり次第、締め切らせていただきます。お早めにお申
し込みください。

6. 申込先: 〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-7 相互半蔵門ビル 12F

公益社団法人 日本コンクリート工学会

学術課

「ASR 診断研究委員会シンポジウム」係

(担当:渡部)

TEL:03-3263-7204/FAX:03-3263-2115

E-mail:watanabe@jci-net.or.jp